

# 平成26年度第29回大津高校チャレンジ大会

平成26年11月21日(金)

当日は、朝から快晴、気温が上がりすぎるのではと心配するほどでした。

8時30分、男子は第1グラウンドを、女子は第2グラウンドをスタート。グラウンドを出る地点で合流し、正門から走り出していきました。



大津町内を抜けて、鞍岳山麓へ向かい、途中で折り返して学校まで帰ってくるコースです。Aコース(42.195km)、Bコース(32km)があり、途中16.6km地点で、参加生徒はどちらへ進むか決断を迫られます。

分岐点に3時間内に到達した生徒が、Aコースへチャレンジできるということから、「チャレンジ大会」と名付けられました。

## < 成績 >

### (1)個人成績(Aコース)

男子第1位	淋くん(3年)	2:40:07
第2位	河田くん(2年)	2:40:55
第3位	緒方くん(2年)	2:42:02
女子第1位	田尻さん(3年)	3:54:00
第2位	和斉さん(1年)	3:54:01
第3位	植田さん(1年)	3:57:39

### (2)全体成績

Aコース完走者	765人
Bコース完走者	72人
途中リタイヤ	6人
完走率	99.3%

### 成績等について

42.195km、32kmともに、高校生にとって決して楽な距離ではありません。そこで、体育の授業において、計画的に、十分な事前指導を行っています。

長距離走をチャレンジ大会の前に設定し、校内の周回コースを利用し、生徒一人一人が目標を持って取り組めるように、工夫をしています。また、健康管理面では、自身の走力・体力を知ること、自分にあった走法・距離を自ら選べるよう、考えさせる指導を行っています。

また、保健部では大会前の健康診断等、健康管理に努め、保健委員会便り等を通して、生徒自身はもちろんのこと御家庭でも健康管理を図れるよう、モチベーションを高めながらも、冷静に自身を振り返ることができるよう努めました。

今回、完走率が過去最高値を記録したことには、今までの長年の取組に加えて、校内での共通理解に基づいた取組の成果だと受け止めています。

## 入賞者の感想

### 男子第1位 淋くん(3年)

走る前、とにかく緊張していた。前年度1位でゴールし、記録も新記録だったので、今年も1位でゴールし、去年の記録を上回らなければならないという気持ちでいっぱいだった。



いざスタートするとそんな気持ちは、だんだんとなくなっていった。途中、先生方や保護者の方々、地域の方々の方々の声援もあり、気持ちに余裕がではじめた。

とにかく足がつかないように、最後まで走りきり、ベストを尽くそうと、ただそれだけを自分に言い聞かせて走ることができた。

さすがに、途中できつくて、もうダメかもしれないと思うこともあったが、気持ちで自分に負けることなく、足をひたすら動かした。そうして、ようやくゴールすることができた。新記録は出せなかったが、1位でゴールすることができ、自分に負けることなく最後まで走りきることができて良かった。

何より、私の走りの支えとなってくださった先生方や保護者の方々、地域の方々、今、とても感謝している。

### 女子第1位 田尻さん(3年)

チャレンジ大会前日まで、雨が降らないかとお祈りをしていたくらい、走るのが嫌でした。当日は見事に晴天で、「今から、本当に42kmも走るんだな」と実感してきました。

スタートのピストルが鳴り、みんなが一斉に走り出したときは、不安でいっぱいでした。

すごく長い急な上り坂も、一緒に走っていた



友達と励まし合いながら、乗り越えることができました。後半、折り返して下ってきた男子の速い人達とすれ違ったときに、「がんばれ」とか「あと少しだよ」とか声を掛けてくれて、もっとがんばらないといけなと思いました。

それから、歯を食いしばってがむしゃらに走り続けることができました。たくさんの人達から声を掛けてもらって、無事に完走することができました。少ししてから、

「完走したんだな」という達成感がこみ上げてきました。

走り終わった後の保護者の方々を作って頂いた豚汁は、最高においしかったです。3年間、このチャレンジ大会を通して、友達の大切さを学び、また、精神的にも身体的にも強くなれたと思います。自分を成長させてくれたチャレンジ大会に感謝しています。これからもがんばっていきます。

## 保護者・地域の皆様へ

チャレンジ大会は、保護者の皆様や地域の皆様の御理解、御協力があってこそ成り立っています。

保護者の皆様には、交通指導、給水等でお世話になりました。生徒には、しっかりと声援をいただいて、健康観察の面でもとても助かっています。



また、誰もが楽しみにしている「豚汁」は、3,200食準備していただきました。声援を受けてゴールし、豚汁を食べて、今度は次の生徒を応援する。そんな姿がとても自然で感動的でした。



保護者の皆様、声援をいただいた地域の皆様に感謝いたします。

熊本県立大津高等学校 教頭 山部